

# 成功する品質管理とは

～企業経営品質の向上に繋がるIoT/AI時代の品質管理～

## ●プログラム●

- ◆日時：2018年8月7日(火) 13:00～17:00
- ◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」
- ◆講師：コンサルビューション(株) パートナーコンサルタント 矢野 知隆氏

### 【略歴】

技術士事務所テクノナコード代表、(株)いちシニアコンサルタント、海外支援 JOSH 理事  
1981年(株)日立製作所入社。電子デバイス事業部で、世界初の全自動無人量産ラインの  
開発、経営企画本部でキャッシュフロー経営、トヨタ生産方式の現場徹底等を行う。

2007年から(株)日立ディスプレイズCIO、モノ造り推進責任者、業務改革本部長として、  
会社経営の徹底軽量化、品質管理の仕組み作りを指導。

2012年から(株)で、中国、チェコ、台湾、フィリピン、韓国、欧州、米国他で生産と  
販売拠点を設立し、モノづくり、経営管理、SCM、販売管理、品質管理の導入と運用の定着  
を指導。

2015年から独立技術士事務所として複数企業の経営課題の対策を指導。

日刊工業新聞連載「技術士の視点」、技術解説「プロジェクトマネジメント」、

IE 学会総会 基調講演、 JMA 総会基調 講演、 経営工学会 解説講演

複数ソリューション企業 ユーザー会招待講演、 複数大学 品質保証特別講義 など

## ●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

\*当会ホームページ (<https://www.bri.or.jp>) からお申込みいただけます。

### ●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	34,560円 (本体 32,000円)
一般	37,800円 (本体 35,000円)

- 申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
- 申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。
- 会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→〔公開セミナー〕→〔よくあるご質問〕をご参照下さい。
- 最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail [murano@bri.or.jp](mailto:murano@bri.or.jp)

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2

MFP R 麹町ビル 2F (旧 麹町 M-SQUARE)

TEL 03-5215-3512 FAX 03-5215-0951

181626-1011	※2018. 8. 7 成功する品質管理とは	
会社名		
住所	〒	
TEL	FAX	
部課 役職		フリガナ お名前
e-mail		
部課 役職		フリガナ お名前
e-mail		

# 成功する品質管理とは

～企業経営品質の向上に繋がるIoT/AI時代の品質管理～

## 【開催主旨】

ここ数年、残念な事に日本企業、日本の製品への信頼が薄れ始めています。今まで日本企業は、完璧な製品を作る真摯な品質追求姿勢と、モノづくりへのプライドと愚直なまでの努力の積み重ねで世界に「Made In Japan 品質」の信頼を勝ち得てきました。しかし、大変残念な事に、最近では偽装や粉飾などの残念な事象がニュースを賑わせております。日本の企業は、「Made In Japan 品質」のプライドを無くしてしまったのでしょうか？そんなことはないと思っています。

ただ、今まで日本企業は、品質管理問題に関して、ものづくり現場の強さを過信し、品質保証部門を中心とする現場に丸投げし、「何故このような品質課題が日本の企業で発生しているのか？何故そのような事態になってしまったのか？今後どうすべきなのか？」等の品質課題について、経営、設計、製造、調達、販売に関わる楷書組織全ての部門で、取り組む姿勢が希薄だった側面も否定できません。

本セミナーは、全社的に品質管理について考えるきっかけ・気付きになる事を目的としています。従って、従来型のセミナーで見られがちであった「単に品質管理のツール群の使い方」を復習するようなプログラムではありません。プログラムとしては、企業倫理から行動指針に分解し、モノづくりの現場のみならず、企業全体を使命感に満ち溢れた組織とする手法、性悪説契約社会においても日本的善意を両立させる手法、また、万が一不誠実は事態が発覚してもそれを早い時期に検出できるガバナンス手法、など経営品質全般を俯瞰する内容をセミナーの論点としています。

更に、世界の潮流である「Industry4.0、Society5.0、中国製造2025、などの新たなものづくりの枠組み、即ち、センサー、IoT、AI、CPSなどのITを駆使した企業横断の品質保証の仕組み」への対応として、これら新潮流を、どの様に品質管理の観点に日本企業として昇華するか的手法も論点とする内容となっています。

## 1. 品質周辺の日本企業の現実、最近事例から考える

### (1) 昨今の品質問題事例分析

偽装粉飾はなぜ起きるのか？ 契約齟齬はなぜ起きるのか？

### (2) 根本的な原因とは？

## 2. 改めて品質管理手法の復習、企業理念から行動指針を作る

### (1) 品質管理とは

### (2) 経営品質に結び付く品質管理・改善手法とは

- ・従来型品質管理手法レビュー TQM、TPS、6シグマ、JQA、公差設計、など
- ・重要なプロセスでの品質の作りこみと客観的データ使用による品質の見える化
- ・品質管理の経営品質への落とし込み

### (3) 企業理念と行動指針と品質管理の関係

## 3. 新たな潮流の再確認とPDCAの大ループの構築

### (1) 世界各国の第4次産業革命対応とは

### (2) IOT,AI,CPS がもたらす新たな品質管理とは

### (3) 生産PDCAを、消費回収にまで広げる意味とは： 和風総本家 made-in-Japan 方式